# 2022年3月期第2四半期 決算説明資料

2021年11月22日



**кимаса** 株式会社 熊谷組



## Agenda

1.ハイライト	P2	
2.受注高① 実績と予想【単体】	•••••Р3	
受注高② 推移【単体】	·····P4	
受注高③ 土木(国内)【単体】	P5	
受注高④ 建築(国内)【単体】	·····Р6	
3.損益計算書① 実績と予想【単体】	·····P7	
損益計算書② 実績と予想【連結】	P8	
損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳	P9	
4.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】	·····P10	
5.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】	·····P11	
6.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【単体】・【連結】	·····P12	
7.販売費及び一般管理費、営業利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の推移【連結】	·····P13	
8連結子会社の業績	·····P14	
9.貸借対照表① 資産【連結】	·····P15	
貸借対照表② 負債・純資産【連結】	·····P16	
10.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】	·····P17	
11.配当金【連結】(通期ベース)	·····P18	
12.有利子負債【連結】	·····P19	
13.キャッシュ・フロー【連結】	·····P20	
14.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】	·····P21	
15. 自己株式の取得	·····P22	
16.新型コロナウイルスの感染拡大による影響	P23	1

1	受注高増【単体】 土木は注力案件が下期に偏重していることもあり弱い動きとなったものの、 建築が大型案件等の獲得により増加したことで、全体として増加	
2	売上高減少。各利益とも減益【連結】 期首繰越高の減少により完成工事高は減少 売上高の減少および前年同期の営業利益、経常利益が第2四半期決算開 示以来、過去最高益であった反動もあり減益	
3	通期見通し 現時点では計画値に対する受注高、売上高の進捗がやや鈍いものの、下期 の積み上げにより計画達成を見込む 配当は120円を据え置き	
4	自己株式取得の実施 株主還元の拡充ならびに資本効率の向上を図るため、現中期経営計画期間に総額100億円規模の自己株式の取得を実施 今期は40億円の自己株式取得を実施	

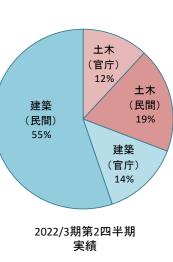
## 2.受注高① 実績と予想【単体】

【単体】															
												A.2021/3期 第2四半期 実績	B.2022/3期 第2四半期 実績	B- 増	
	围	内			官	庁	177	129	<b>▲</b> 48	-27.1%					
					民	間	240	206	▲ 34	-14.3%					
			土	木			417	335	▲ 82	-19.7%					
					官	庁	72	152	80	112.3%					
					民	間	478	601	123	25.8%					
			建	築			549	753	204	37.1%					
							966	1,088	121	12.6%					
	海	外					18	0	▲ 18	-100.0%					
受注高							985	1,088	103	10.5%					

率 6.4%
6.4%
6.4%
70/
3.7%
9.9%
1.6%
3.5%
.3%
7.2%
.3%
3.2%

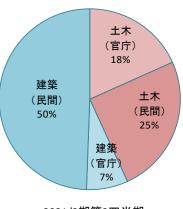
(単位·億円)

#### (国内受注高官民構成)



#### 【当第2四半期に受注した主な工事】

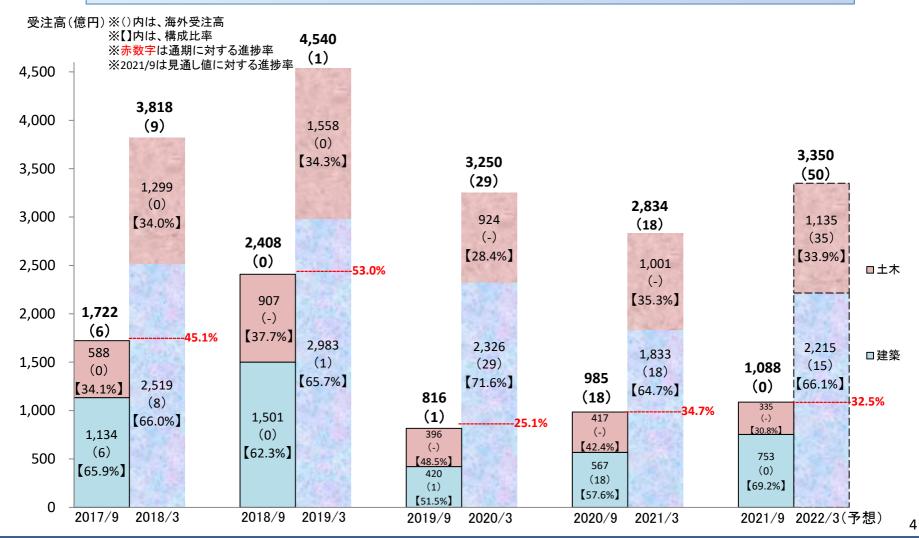
土建	官民	発注者	工事名	所在地	完成時期
土木	民間	株式会社関電工	道北風力発電事業勇知ウインドファーム建設工事	北海道	2025/6
土木	官庁	国土交通省	R3荒川右岸小台一丁目地区高規格堤防工事	東京都	2024/3
土木	民間	東京発電株式会社	川又発電所土木建築工事並びに関連除却工事	埼玉県	2024/6
土木	官庁	環境省	令和3年度飯舘村対策地域内廃棄物等処理業務(減容化処理) 解体撤去工事	福島県	2022/3
建築	民間	三井不動産レジデンシャル株式会社	(仮称)幕張新都心若葉住宅地区計画(B-5街区)	千葉県	2024/5
建築	民間	学校法人 東京女子学園	(仮称)東京女子学園中学校・高等学校建替え計画	東京都	2023/10
建築	民間	株式会社ニトリ	(仮称)ニトリ石狩DC新築工事	北海道	2022/5
建築	官庁	厚木愛甲環境施設組合	厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設 建設工事	神奈川県	2025/11



2021/3期第2四半期 実績

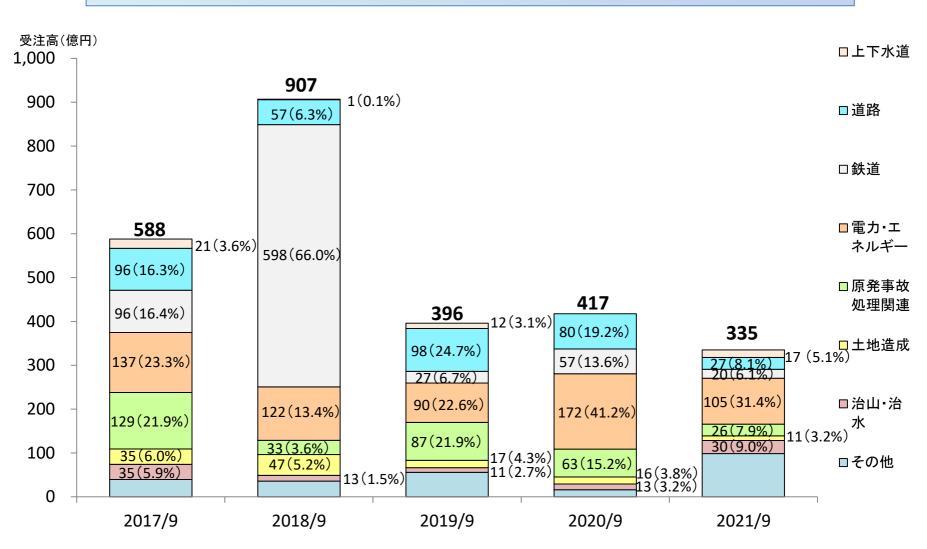
#### 2.受注高② 推移【单体】

・下期に土木の官庁案件や建築の大型案件が控えていることもあり 計画値に対する進捗率は低め



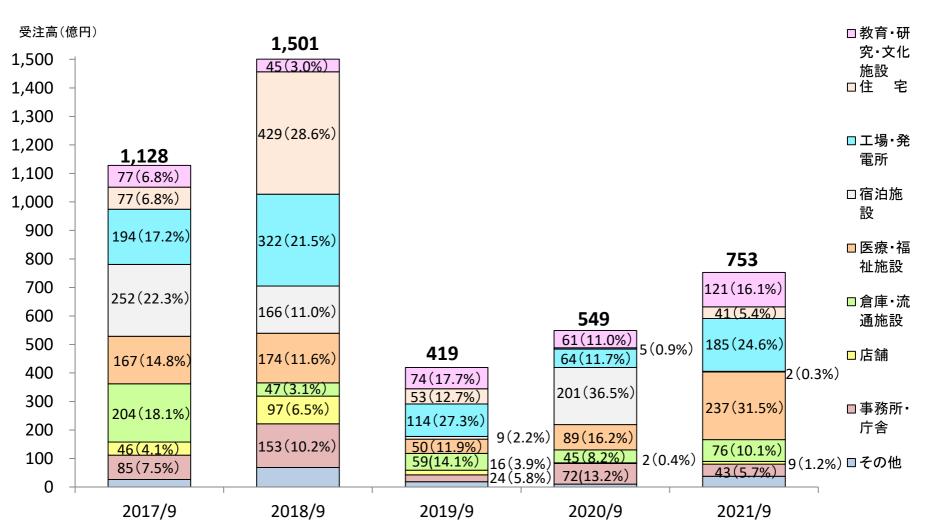
#### 2.受注高③ 土木(国内)【単体】

### ・治山・治水分野が増加、電力・エネルギー分野は反動減



#### 2.受注高④ 建築(国内)【単体】

#### ・大型案件の獲得もあり医療・福祉および工場・発電所分野が伸びる



## 3.損益計算書① 実績と予想【単体】

【単体】 \_(単位:億円)

【丰件】											
	A.2021/		B.2022/			B-A					
	第2四半期	実績	第2四半期	実績		増減	r				
		利益率		利益率		増減率	利益率				
国内土木	593		469		▲ 124	-20.9%					
建築	1,073		1,007		▲ 66	-6.1%					
	1,666		1,476		▲ 189	-11.4%					
海 外	8		3		▲ 5	-66.4%					
完成工事高	1,673		1,479		▲ 194	-11.6%					
国内土木	60	10.2%	50	10.6%	▲ 11		0.4%				
建築	113	10.6%	96	9.5%	<b>▲</b> 17		-1.1%				
	174	10.4%	146	9.9%	▲ 28		-0.5%				
海 外	0	4.3%	0	14.2%	0		9.9%				
完成工事総利益	174	10.4%	146	9.9%	▲ 28	-16.1%	-0.5%				
人件費	36		38		2						
物件費	35		34		<b>▲</b> 1						
一般管理費	71		72		1						
営業利益	103	6.1%	74	5.0%	▲ 29	-28.1%	-1.1%				
営業外収益	13		20		7						
営業外費用	2		1		▲ 0						
経常利益	114	6.8%	92	6.2%	▲ 22	-19.1%	-0.6%				
特別利益	0		0		0						
特別損失	4		0		<b>▲</b> 4						
税引前四半期(当期)純利益	110		92		▲ 18	-16.4%					
法人税、住民税及び事業税	20		20		▲ 0						
法人税等調整額	12		4		▲ 8						
四半期(当期)純利益	77	4.6%	68	4.6%	▲ 10	-12.4%	0.0%				

1					\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	业.
C.2021/	′3期	D.2022/	′3期		D-C	
通期 3	<b>ミ績</b>	通期 予	想	:	増減	
	利益率		利益率		増減率	利益率
1,214		1,050		▲ 164	-13.5%	
2,369		2,370		1	0.0%	
3,584		3,420		▲ 164	-4.6%	
18		20		2	8.1%	
3,602		3,440	)	▲ 162	-4.5%	
137	11.3%	118	11.2%	▲ 19		-0.1%
238	10.0%	250	10.5%	12		0.5%
375	10.5%	368	10.8%	<b>▲</b> 7		0.3%
1	5.0%	1	5.0%	0		0.0%
376	10.4%	369	10.7%	<b>A</b> 7	-1.9%	0.3%
75		72		<b>▲</b> 3		
76		84		8		
152		156		4		
224	6.2%	213	6.2%	<b>▲</b> 11	-5.1%	0.0%
16		16		<b>A</b> 0		
5		3		<b>▲</b> 2		
235	6.5%	226	6.6%	<b>A</b> 9	-4.0%	0.1%
1		0		<b>1</b>		
22		0		▲ 22		
215		226		11	5.2%	
51		65		14		
13		3		<b>▲</b> 10		
150	4.2%	158	4.6%	8	5.0%	0.4%

## 3.損益計算書② 実績と予想【連結】

【連結】					
	A.2021/3期	B.2022/3期	B-A		
	第2四半期 実績	第2四半期 実績	増減 増減	<u> </u>	

	A.	A.2021/3期			B.2022/3期			B-A			
	第2四	四半期	実績	第2日	四半期	実績		増減		増減率	
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	坦水牛	
完成工事高	2,069	1,673	395	1,896	1,479	416	<b>▲</b> 173	▲ 194	21	-8.4%	
完成工事総利益	214	174	40	185	146	39	<b>A</b> 29	▲ 28	<b>1</b>		
(利益率)	10.3%	10.4%	10.0%	9.8%	9.9%	9.3%	-0.5%	-0.5%	-0.7%		
一般管理費	95	71	24	98	72	26	3	1	2		
営業利益	118	103	16	87	74	13	▲ 31	▲ 29	<b>A</b> 2	-26.5%	
(利益率)	5.7%	6.1%	4.0%	4.6%	5.0%	3.2%	-1.1%	-1.1%	-0.8%		
営業外収益	4	13	▲ 9	6	20	<b>1</b> 4	2	7	<b>A</b> 5		
営業外費用	2	2	0	1	1	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0		
経常利益	120	114	7	91	92	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 29	<b>▲</b> 22	<b>A</b> 7	-24.1%	
(利益率)	5.8%	6.8%	1.7%	4.8%	6.2%	-0.2%	-1.0%	-0.6%	-1.9%		
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
特別損失	5	4	1	1	0	1	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>A</b> 0		
税金等調整前四半期 (当期)純利益	115	110	6	91	92	<b>1</b>	<b>▲</b> 25	<b>1</b> 8	<b>A</b> 7	-21.5%	
法人税、住民税及び 事業税	24	20	4	23	20	3	<b>1</b>	▲ 0	<b>1</b>		
法人税等調整額	14	12	1	5	4	1	<b>A</b> 9	<b>A</b> 8	<b>1</b>		
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	77	77	0	63	68	<b>A</b> 5	<b>1</b> 5	<b>1</b> 0	<b>A</b> 5	-19.0%	
(利益率)	3.7%	4.6%	0.0%	3.3%	4.6%	-1.2%	-0.4%	0.0%	-1.2%		

								(単	位:億円)
C.	.2021/3	期	D.	.2022/3	期		D	-C	
通	通期 実網	漬	j	期 予	想		増減		## <del>#=</del> #4
連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	増減率
4,502	3,602	900	4,510	3,440	1,070	8	<b>▲</b> 162	170	0.2%
481	376	105	478	369	109	<b>A</b> 3	<b>A</b> 7	4	
10.7%	10.4%	11.7%	10.6%	10.7%	10.2%	-0.1%	0.3%	-1.5%	
200	152	49	208	156	52	8	4	3	
281	224	56			57	<b>▲</b> 11	<b>1</b> 1	1	-3.8%
6.2%	6.2%	6.2%	6.0%	6.2%	5.3%	<del>-</del> 0.2%	0.0%	-0.9%	0.070
9	16	<u>0.2</u> 7	7	16	<b>3.5</b> / <sub>0</sub> <b>▲</b> 9			<b>1</b>	
6	5	0	3	3		▲ 2 ▲ 3	<b>▲</b> 0		
0	5	U	3	3	0	<b>A</b> 3	<b>▲</b> 2	▲ 0	
284	235	49	274	226	48	▲ 10	<b>A</b> 9	▲ 1	-3.5%
6.3%	6.5%	5.4%	6.1%	6.6%	4.5%	-0.2%	0.1%	-0.9%	
1	1	0	0	0	0	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>A</b> 0	
24	22	3	1	0	1	<b>▲</b> 23	<b>▲</b> 22	<b>A</b> 2	
261	215	46	273	226	47	12	11	1	4.6%
66	51	15	82	65	17	16	14	2	
15	13	2	5	3	2	<b>1</b> 0	<b>1</b> 0	<b>A</b> 0	
179	150	29	186	158	28	7	8	<b>1</b>	3.8%
4.0%	4.2%	3.2%	4.1%		2.6%	0.1%	0.4%	-0.6%	

#### 【連結子会社 7社】

(株)ガイアート、テクノス(株)、ケーアンドイー(株)、(株)ファテック、テクノスペース・クリエイツ(株)、(株)テクニカルサポート、華熊營造股份有限公司(台湾)

【持分法適用会社 3社】

笹島建設㈱、共栄機械工事㈱、㈱前田工務店

## 3.損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳

営業外損益の状況(連結)

(単位:億円)

		A.2021/3期 第2四半期 実績			B.2022/3期 第2四半期 実績			B−A 増減		
		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
	受取利息配当金	1.9	11.7	<b>▲</b> 9.8	3.2	17.9	<b>▲</b> 14.7	1.3	6.2	<b>▲</b> 4.9
	持分法による投資利益	0.6	_	0.6	0.7	1	0.7	0.1	I	0.1
	その他	1.3	1.1	0.2	1.7	1.6	0.1	0.5	0.5	▲ 0.0
営業外収益	計 益	3.8	12.8	<b>▲</b> 9.0	5.6	19.5	<b>▲</b> 13.9	1.8	6.7	<b>▲</b> 4.9
	支払利息	0.9	8.0	0.0	0.8	8.0	0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0
	為替差損	0.2	0.2	0.0	_	_	_	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.0
	シンジケートローン手数料	0.2	0.2	_	0.2	0.2	_	0.0	0.0	_
	株式交付費償却	0.2	0.2	_	_	_	_	▲ 0.2	▲ 0.2	_
	その他	0.3	0.2	0.1	0.4	0.3	0.0	0.0	0.1	▲ 0.1
営業外費用	月 計	1.9	1.8	0.1	1.4	1.4	0.0	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.1

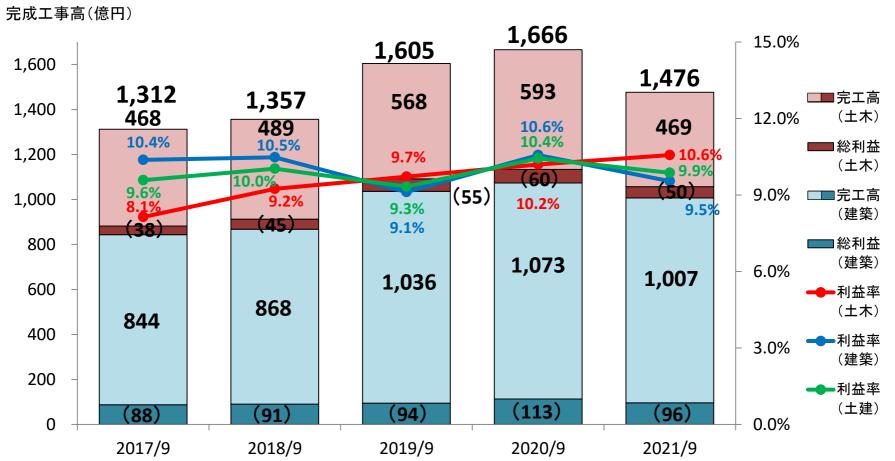
特別損益の状況(連結)

(単位:億円)

			A.2021/3期 第2四半期 実績			3.2022/3其		B-A			
					第2四半期 実績				増減		
		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	
	固定資産売却益	0.0	0.0	0.0	0.1	_	0.1	0.0	▲ 0.0	0.0	
	会員権売却益	0.0	0.0	_	0.1	0.1	_	0.1	0.1	_	
	その他	_	_	_	0.0	_	0.0	0.0	-	0.0	
特別利益	計	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	
	損害賠償金	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	_	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.0	
	偶発損失引当金繰入額	1.0	1.0	_	_	_	_	<b>▲</b> 1.0	<b>▲</b> 1.0	_	
	感染症関連費用	2.2	1.9	0.3	0.5	0.3	0.2	<b>▲</b> 1.8	<b>▲</b> 1.6	▲ 0.2	
	その他	0.9	0.3	0.6	0.5	0.1	0.4	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.2	
特別損失	計	5.0	4.0	1.0	0.9	0.4	0.6	<b>▲</b> 4.1	▲ 3.7	▲ 0.4	

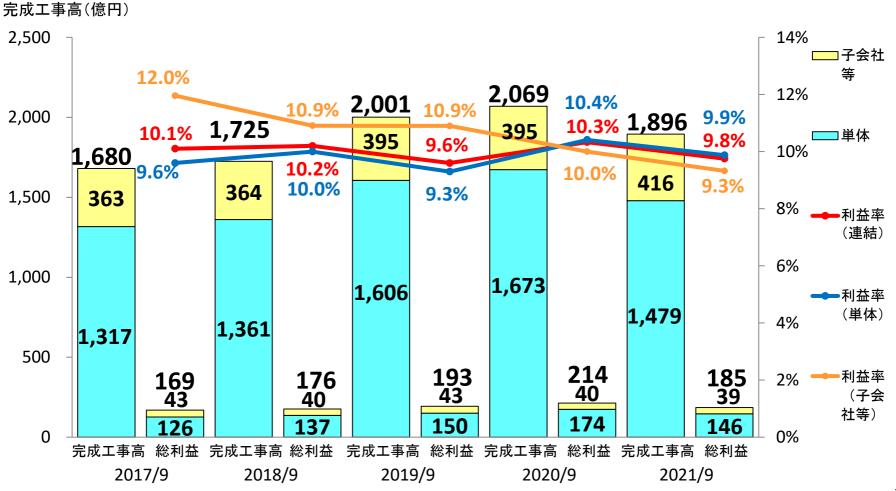
#### 4.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】

- ・期首繰越高の減少により完成工事高は減少
- ・土木は利益率が改善したものの、建築は低採算案件や前期高採算案件の反動もあり利益率が低下



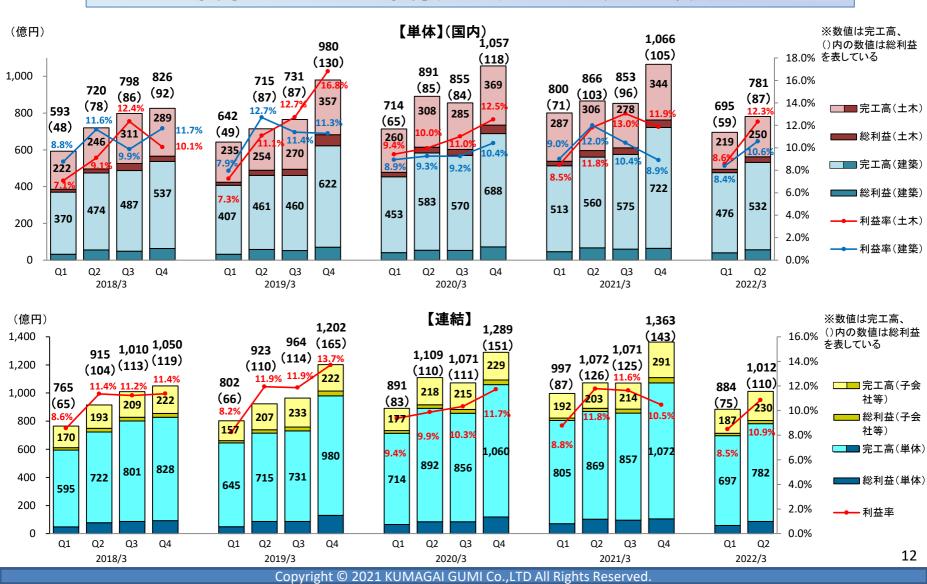
#### 5.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】

- 単体の減少により完成工事高は前年同期から減少
- 完成工事高の減少および利益率の低下に伴い完成工事総利益も減少

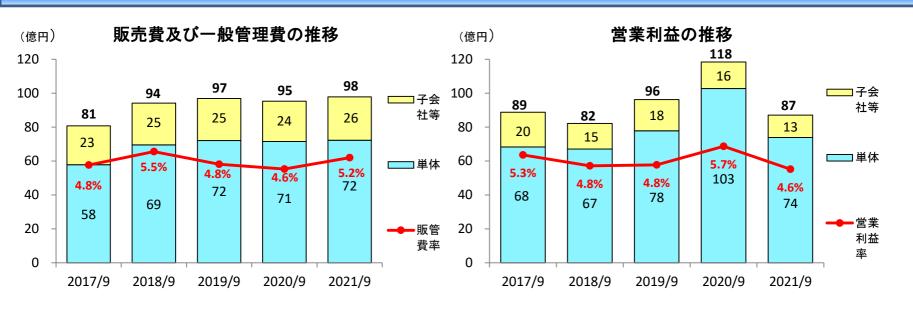


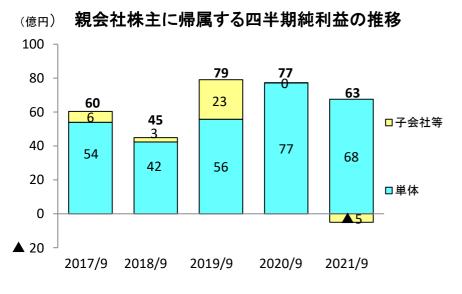
#### 6.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【単体】・【連結】

## ・ 完成工事高および完成工事総利益(率)ともに第1四半期より増加



#### 7.販売費及び一般管理費、営業利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の推移【連結】







#### 8.連結子会社の業績

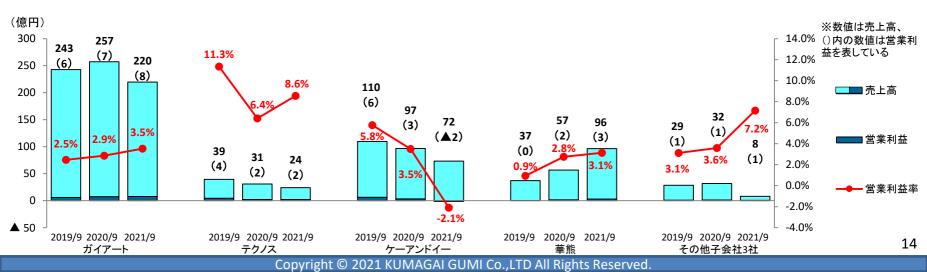
## ガイアート、テクノス、ケーアンドイーは減収となったものの、華 熊が大きく売上高を伸ばす

\_連結子会社の業績 (単位:億円)

	株式会社ガイアート			テ	クノス株式会	社	ケーアンドイー株式会社		
	20.3期 2Q	21.3期 2Q	22.3期 2Q	20.3期 2Q	21.3期 2Q	22.3期 2Q	20.3期 2Q	21.3期 2Q	22.3期 2Q
売上高	243	257	220	39	31	24	110	97	72
営業利益	6	7	8	4	2	2	6	3	<b>▲</b> 2
経常利益	6	8	8	4	2	2	6	3	<b>▲</b> 1
当期純利益	17	5	5	3	1	1	5	3	<b>▲</b> 1

	華熊營造	股份有限公	·司(台湾)	その他子会社3社				
	20.3期 2Q	21.3期 2Q	22.3期 2Q	20.3期 2Q	21.3期 2Q	22.3期 2Q		
売上高	37	57	96	29	32	8		
営業利益	0	2	3	1	1	1		
経常利益	0	2	3	1	1	1		
当期純利益	0	1	2	1	1	0		

※ グループ間売上相殺等の連結調整を行う前の数値です。



## 9.貸借対照表① 資産【連結】

【連結貸借対照表】(資産)

(単位:億円)

	A.2021/3期			F	3.2021/9期	I	B-A		
	連結	単 体	子会社等	連結	単 体	子会社等	連結	単体	子会社等
現金預金	713	518	196	680	456	224	▲ 33	<b></b> 61	28
受取手形·完成工事未収入金等	1,972	1,653	319	1,813	1,574	239	<b>▲</b> 159	<b>▲</b> 79	▲ 80
未成工事支出金	65	54	10	111	103	8	47	48	<b>▲</b> 2
未収入金	295	295	0	227	212	15	<b>▲</b> 68	▲ 83	15
その他	76	74	2	33	24	9	<b>4</b> 3	▲ 50	7
貸倒引当金	<b>▲</b> 2	<b>A</b> 2	<b>A</b> 0	<b>▲</b> 0	<b>A</b> 0	<b>▲</b> 0	2	2	0
流動資産合計	3,118	2,591	527	2,863	2,368	495	▲ 254	▲ 223	▲ 32
建物及び構築物	75	36	39	80	41	39	5	6	<b>▲</b> 0
土地	151	122	29	151	122	29	<b>A</b> 0	<b>A</b> 0	<b>A</b> 0
その他	31	12	18	29	10	19	<b>A</b> 2	<b>A</b> 2	1
有形固定資産合計	257	170	86	260	173	86	3	3	▲ 0
無形固定資産合計	6	4	1	7	6	1	1	1	▲ 0
投資有価証券·関係会社株式	297	333	<b>▲</b> 36	281	316	<b>▲</b> 36	<b>1</b> 6	<b>1</b> 7	1
その他	121	68	53	125	69	57	5	1	4
貸倒引当金	<b>▲</b> 2	<b>A</b> 0	<b>A</b> 2	<b>▲</b> 2	_	<b>▲</b> 2	<b>A</b> 0	0	<b>A</b> 0
投資等合計	416	401	15	404	385	19	<b>▲</b> 12	<b>1</b> 6	5
固定資産合計	678	576	102	671	564	107	<b>A</b> 7	<b>▲</b> 12	4
資産合計	3,796	3,167	629	3,534	2,932	602	▲ 262	▲ 234	<b>▲</b> 27

## 9.貸借対照表② 負債・純資産【連結】

【連結貸借対照表】(負債·純資産)

(単位:億円)

【建阳县旧对深久】(县县 吨县注)									(単位:18月)
	<u>A.2021/3期</u>		Ę	3.2021/9期	]		B-A		
	連結	単 体	子会社等	連結	単 体	子会社等	連結	単 体	子会社等
支払手形・工事未払金・電子記録債務等	1,220	1,028	192	906	727	179	▲ 315	▲ 302	<b>▲</b> 13
短期借入金	42	39	2	32	30	2	<b>A</b> 9	<b>A</b> 9	<b>A</b> 0
未払法人税等	38	35	4	24	22	2	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 1
未成工事受入金	119	99	20	213	198	15	94	98	<b>▲</b> 5
預り金	346	333	13	360	338	22	13	5	9
偶発損失引当金	15	15	0	1	1	0	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 0
賞与引当金	43	28	15	40	27	14	<b>▲</b> 2	<b>1</b>	<b>▲</b> 1
その他	83	60	22	59	51	7	<b>▲</b> 24	<b>A</b> 9	<b>▲</b> 15
流動負債合計	1,906	1,638	268	1,635	1,393	241	▲ 271	<b>▲</b> 245	▲ 27
長期借入金	77	77	_	86	86	_	9	9	_
退職給付に係る負債/退職給付引当金	166	136	30	167	138	30	1	1	<b>▲</b> 1
その他	8	2	5	7	2	5	<b>A</b> 0	0	<b>A</b> 0
固定負債合計	251	216	36	261	226	35	9	10	<b>▲</b> 1
負債合計	2,157	1,854	304	1,895	1,619	276	▲ 262	▲ 234	▲ 28
株主資本合計	1,595	1,271	325	1,602	1,282	320	7	12	<b>▲</b> 5
その他の包括利益累計額	43	42	1	36	30	6	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 12	5
純資産合計	1,638	1,313	325	1,638	1,313	326	0	<b>A</b> 0	0
負債及び純資産合計	3,796	3,167	629	3,534	2,932	602	▲ 262	▲ 234	<b>▲</b> 27
(自己資本比率)	43.2%	41.5%	51.7%	46.4%	44.8%	54.1%	+3.2%	+3.3%	+2.4%

#### 10.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】

#### 利益の積み上げにより、自己資本比率は40%を超える

自己資本、自己資本比率およびROEの状況 (単位:億円) 2018/3 2018/9 2019/3 2019/9 2020/3 2020/9 2021/3 2021/9 2022/3(予想) 1,507 1,279 1,349 1,375 1,480 1,638 1.638 1,721 1,264 3,337 3,213 3,537 3,328 3,748 3,503 3,796 3,534

自己資本 総資本 自己資本比率 39.5% 39.8% 38.1% 41.3% 43.2% 46.4% 37.9% 43.0% 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 158 194 63 186 45 133 79 77 179 ROE(自己資本利益率) 15.3% 10.2% 13.7% 11.5% 11.1%



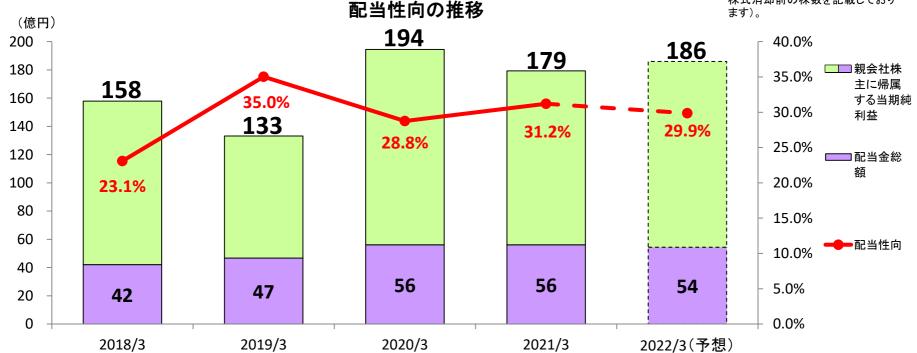
#### 11. 配当金【連結】(通期ベース)

#### ・1株当たり配当額は120円、配当性向は約30%

配当金の状況 (単位:億円)								
	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3(予想)			
発行済株式数	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株			
自己株式数	▲22,471株	▲36,826株	▲45,563株	▲52,116株	▲1,434,888株			
1株当たり配当額	90.00円	100.00円	120.00円	120.00円	120.00円			
配当金総額	42	47	56	56	54			
親会社株主に帰属する当期純利益	158	133	194	179	186			
1株当たり当期純利益	389.63円	285.49円	417.35円	384.69円	401.92円			
配当性向	23.1%	35.0%	28.8%	31.2%	29.9%			

※1 配当性向は、「1株当たり配当額:1株当たり出期純利益」で算出しております。

※2 2022/3(予想)は、1株当たり 当期純利益等について、2021年11 月11日に公表した「自己株式取得 に係る事項の決定」及び「株式報 酬制度における株式取得に係る事 項の決定」に係る影響を考慮して おります(株式数については、自己 株式消却前の株数を記載しており ます)。



#### 12.有利子負債【連結】

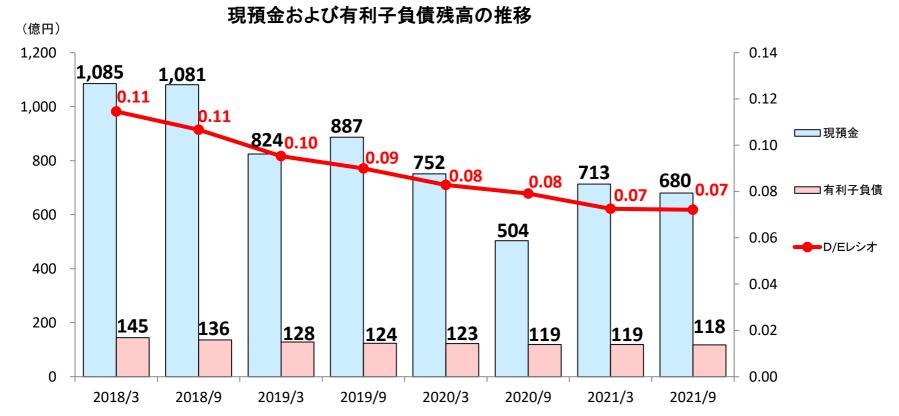
## • D/Eレシオは低水準を維持し財務健全性は高い

有利子負債の推移 (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一) (単一)									
	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	
有利子負債残高	145	136	128	124	123	119	119	118	
D/Eレシオ	0.11	0.11	0.10	0.09	0.08	0.08	0.07	0.07	

※D/Eレシオ

#### 有利子負債÷自己資本

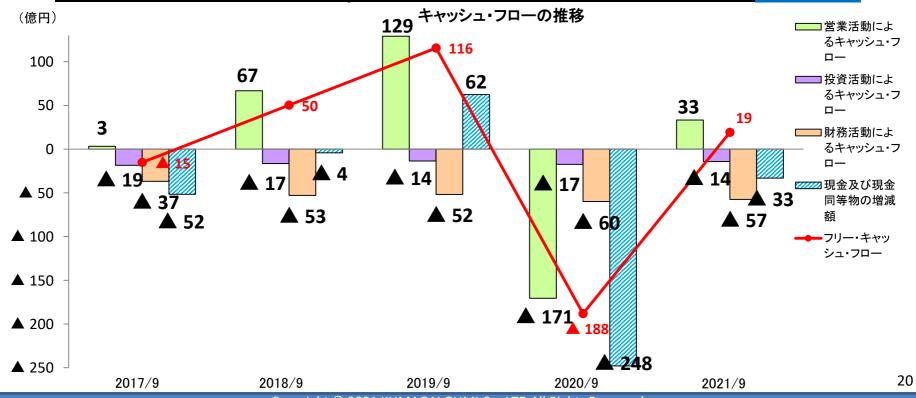
企業の財務健全性を見る指標のひとつであり、数値が低いほど財務内容が安定している。



#### 13.キャッシュ・フロー【連結】

・売上債権の回収等により営業活動によるCFはプラスとなるものの、配当金の支払い等により現預金は前期末より減少

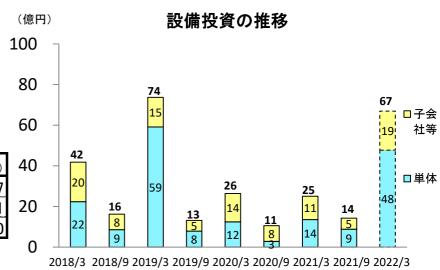
キャッシュ・フロー (単位:億円) 2017/9 2018/9 2021/9 2019/9 2020/9 営業活動によるキャッシュ・フロー **171** 33 67 129 投資活動によるキャッシュ・フロー **1**9 **1**7 **1**4 **1 1**4 財務活動によるキャッシュ・フロー **A** 37 **5**3 **5**2 **▲** 60 **4** 57 現金及び現金同等物の増減額 **A** 33 **▲** 52 62 **A** 248

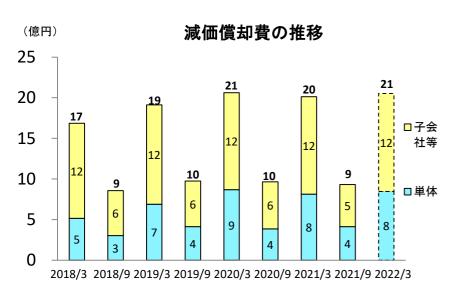


## 14.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】

設備投資等の	<u>i</u> )	単位:億円)		
	2018/3	2018/9	2019/3	2019/9
設備投資	42	16	74	13
減価償却費	17	9	19	10
研究開発費	20	11	23	11

	2020/3	2020/9	2021/3	2021/9	2022/3(予想)
設備投資	26	11	25	14	67
減価償却費	21	10	20	9	21
研究開発費	26	13	27	13	30







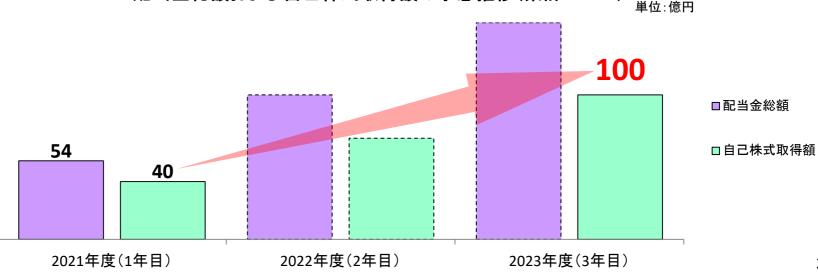
#### 15. 自己株式の取得

- ・株主還元の拡充ならびに資本効率の向上を図るため、現中期経営計画期間に総額100億円規模の自己株式の取得を実施
- ・取得した自己株式は適宜消却する予定



現中期経営計画期間にわたって継続・安定的に資本政策を実施

#### 配当金総額および自己株式取得額の予想推移(累計ベース)



22

#### 16. 新型コロナウイルスの感染拡大による影響

新型コロナウイルス感染拡大のマイナス影響が弱まり、プラス影響が徐々に顕在化

#### ■業績への影響

#### マイナス影響

- 先行き不透明・景気後退に伴う民間企業の設備投資の 減少(プロジェクトの中止または延期)
- インバウンド需要縮小に伴う宿泊施設等の新設減少
- 追加設計変更交渉等の難航
- 海外工事減少に伴う国内競争の激化
- 丁事中断に伴う丁程遅延
- 部材の納入遅れによる丁程遅延
- 発注者、協力業者の倒産リスクの増加
- 感染症対策に伴うコストの増加

etc

#### プラス影響

- 景気下支え策としての公共工事の増加
- デフレーションによる工事コストの低下
- 医療、倉庫・流通施設の増設、移転
- 海外における生産拠点の日本回帰や再編に伴う工場等 の増設、移転
- 生活・社会・通信インフラの整備
- 行動様式の変容に合わせたリニューアル工事の増加
- 集約型から分散型オフィスへのシフト
- M & A の進展
- 再開発事業に係る不動産購入コストの低下
- テレワーク、オンライン化に伴う経費の削減 ・・・

etc

#### 上記マイナス、プラス影響のうち顕在化している主なもの

- (-) **追加設計変更交渉等の難航・・・**移動制限等による機会の減少やオンラインでの協議により交渉が長期化
- (-)感染症対策に伴うコストの増加・・・感染症関連費用として約5千万円を特別損失に計上
- (+) 公共工事の増加・・・業界全体では官庁工事が増加し、今後も引き続き底堅く推移することを見込む
- (+) 生産拠点の再編に伴う工場等の増設・・・政府の補助金制度対象案件を複数受注

## 高める、つくる、そして、支える。



# 熊谷組

#### (将来事象に関する注意事項)

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。